

受験番号

2026年度 一般選抜 I 期 入学試験問題

国 語 (50 分)

注 意 事 項

1. 「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で 5 ページです。印刷不鮮明などの箇所があった場合は申し出てください。
3. 答えは解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 使用する問題冊子と解答用紙の指定欄に**受験番号**（数字）を必ず記入してください。
5. 解答作業には必ず**黒の鉛筆**（HB 以上）または**シャープペンシル**を使用し、ボールペンや色鉛筆などを使ってはいけません。
6. 試験終了後に、解答用紙、次に**問題冊子**を回収します。問題冊子の余白や裏面は、**下書き**に使用してもかまいません。
解答用紙は破ったり、汚したりしないでください。
7. 「やめ」の合図で、すぐに筆記用具を置き、静かに待っててください。

一 以下は、阿部勤也教授の、東京芸術大学における最終講義(2006年)の一節である(「日本の最終講義」KADOKAWA 2022年より)。
読んで、以下の問に答えなさい。

著作権の関係により掲載することができません

著作権の関係により掲載することができません

(一) (ア) から (コ) まで、傍線部の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

(二) ①から⑬の空欄には、「個人」「世間」のいずれかの語が入ります。
適切な語を選んで、それぞれ、「個」または「世」と、記入しなさい。

【二】以下は、遠山啓教授の、東京工業大学における最終講義（1970年）の一節である（「日本の最終講義」KADOKAWA 2022年より）。読んで、以下の問に答えなさい。

著作権の関係により掲載することができません

(一) 空欄①から⑥に当てはまる最も適切な語句を、以下から選び、その記号を記しなさい。

- a. 写しだす
- b. カメラ
- c. 建築物
- d. 自然
- e. 作り変え
- f. 電子顕微鏡

☐ 以下は小泉八雲先生の、東京帝国大学での最終講義の一節である（「日本の最終講義」KADOKAWA 2022年より）。読んで問に答えなさい。なお、講演が行われた明治三十六年当時の、文学思潮が背景にある。

著作権の関係により掲載することができません

(二) (ア) から (エ) まで、傍線部の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

(二) ①から⑤の空欄には、「古典主義」「通俗」のいずれかの語が入ります。適切な語を選んで、それぞれ、「古」または「通」と、記入しなさい。